

2022.6.1.

## 外来種ツヤハダゴマダラカミキリについてのお願い

三好丘旭行政区

いつも行政区の運営にご協力いただきましてありがとうございます。

さて、三好丘旭の街路樹に世界の侵略的外来種ワースト 100 に入っている外来種のカミキリムシが 2017 年ごろから侵入していることが、昨年判明しました。

昨年までの調査では、プロムナード北側の緑道と下り松公園、一部の民家のアキニシの木で発生が確認されています。

市役所に該当木の伐採と薬剤注入を依頼しておりますが、対応が遅れています。そこで、市民の皆様にもご協力をお願いいたします。ツヤハダゴマダラカミキリ（以下ツヤハダ）を発見されましたら、集会所までご連絡の上、下記の対応をお願いいたします。

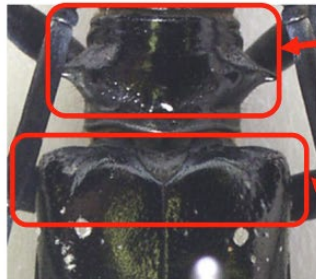
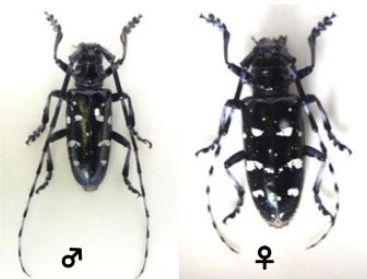
### ■ツヤハダゴマダラカミキリの特徴

在来種のゴマダラカミキリと大変良く似ており、さらに、三好丘旭の緑道はツヤハダと在来種がほぼ同時期に発生します。

在来種も街路樹を食害する害虫となりますので、よく似た虫が見つかりましたら、すぐに捕まえてください。

簡単に見分ける方法は「肩の部分（上翅基部）がツルツルかブツブツかかどうか」です。ツルツルなのがツヤハダで、ブツブツがあるのが在来種のゴマダラカミキリ。

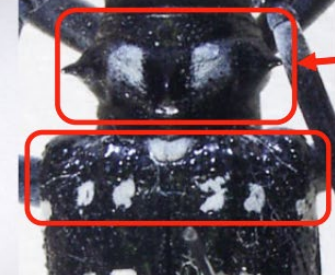
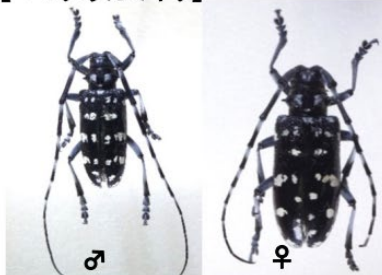
#### 【ツヤハダゴマダラカミキリ】



『前胸背』  
・ 白紋を持たない

『上翅基部』  
・ 顆粒状突起を持たない  
・ 白紋を持たない  
・ 小楯板は白色軟毛に覆われない

#### 【ゴマダラカミキリ】



『前胸背』  
・ 中央に2つの白紋を持つ

『上翅基部』  
・ 顆粒状突起を持つ  
・ 白紋を持つ  
・ 小楯板は白色軟毛に覆われる

ツルツルか  
ブツブツか

## ■見つけた場合の対応

発見日時・発見場所・発見時の状況をお知らせください。

可能であれば、写真を撮影してください。

成虫を捕まえた場合はその場でつぶし、お手数ですが集会所までお持ちください。

生きたままビニール袋や虫かごに入れておくと、噛み切って脱走します。

個人のご判断で過剰な殺虫剤の散布はお控えください。

## ■ツヤハダの生態

現在わかっていることは以下の通りです。

- ・アキニレの木にすり鉢状の傷をつけて卵を1つ産卵。メス1匹で40~60個産卵。
- ・幼虫は木の中で数年かけて成虫になり、6~7月に羽化する。
- ・幼虫が幹の中にある木からはフラス（木くず）が出ている。
- ・昼間はアキニレのてっぺんの茂みに隠れていて、午後に幹に現れて交尾・産卵をする。
- ・当地区ではアキニレのみの食害ですが、他県や諸外国の事例ではさまざまな木を食害しており、根絶しなければ脅威となります。



幹にメスが穴を掘り、そこに産卵する。  
オスは産卵中のメスをガード。



幹の中にある幼虫が出したフラス。  
これがあれば中に幼虫がいることがわかる。



産卵痕。今年メスが産卵した跡。  
穴に卵が1つずつ入っている。



脱出孔。成虫が羽化して幹から出た跡。  
直径10~15cmでまん丸。くっきりとした穴。

以上

三好丘旭集会所（お問い合わせは9:00~13:00）

〒470-0203 愛知県みよし市三好丘旭 2-14-2

電話：0561-36-0566 メール：myooka-@hm7.aitai.ne.jp